

関東演劇研究大会報告（演劇部）（1/25～1/26）

1/25(土)～26(日), 静岡県富士市のロゼシアターにおいて, 第 55 回関東演劇研究大会が行われました。竜ヶ崎二高は初日の 6 番目に上演し, 優良賞を頂きました。本当にたくさんの方々の方々の支えのもと, 大きな舞台に進むことができ, 生徒たちも連日よく頑張りました。改めて感謝申し上げます。

第 55 回
関東高等学校演劇研究大会
富士会場



令和2(2020)年1月25日(土)～26日(日)
富士市文化会館 ロゼシアター 中ホール

■主 催／関東高等学校演劇協議会 <http://www2.odn.ne.jp/~cai42040/engeki/>
全国高等学校演劇協議会
静岡県高等学校文化連盟
静岡県高等学校文化連盟演劇専門部
静岡県高等学校演劇協議会

■後 援／文化庁 静岡県教育委員会 富士市 富士市教育委員会
■助 成／日本芸術文化振興会

■特別協賛／東京工科大学 日本工学院

■協 賛／桐朋学園芸術短期大学 多摩美術大学 四国学院大学
金井大道具株式会社



静岡県文化振興基金助成事業



SHIZUOKA
静岡県文化振興基金

上演⑥ 25日(土) 16:45～17:45 茨城県代表

茨城県立竜ヶ崎第二高等学校
アニー・ローリー



作 後藤ケイと竜二演劇部（既成）
顧問：難賀めぐみ、阿部なつき、柴田 有理

キャスト

本田みずず … 齋田 優衣
及川厚子 … 齋田 彩香
安斎緑 … 山岡 優笑
恵兵 … 大野優里香
男 … 土井 元喜

スタッフ

演 出 … 山岡 優笑
照 明 … 鈴木 仁翔・松園 和之
田中 和花
音響効果 … 吉田 瑞輝・菊川 美桜
プロジェクター … 石塚 由菜・大野優里香
大 道 具 … 飯島 響輝・鈴木 仁翔
土井 元喜
衣装・メイク … 竜ヶ崎二高演劇部

上演にあたって

（あらすじ）
夏のある日、日本史のテストで赤点をとってしまったみずずは、ひとり、学校の歴史を調べることとなる。そんなみずずの目にとまったのは、一枚の女子生徒の写真と日記『自省録』だった。降りしきる雨時雨、遠くから聞こえる歌声。やがて、先輩とおぼしき二人がやってきて……。天真爛漫なみずず、寛仁大度な厚子、堅忍不拔な緑、旧校舎の空き教室でみずずが見た世界は……。

（コメント）
こんにちは！ 竜二演劇部です。1993年、2008年、そして今年、2020年。3度目の関東大会出場になります。今回は、部員の1年生男子3名、2年生女子3名にお手伝いさん6名を加えた計12名で参加します。ここまでくまでに、本当に多くの方々を支えて頂きました（深謝）。『アニー・ローリー』、よろしくお願い致します！

〔県大会後、上演についての感想を本校生徒がまとめました〕

私達、竜ヶ崎二高演劇部は「アニー・ローリー」という作品を上演しました。

今回の作品は“歌で繋がる心”が私たちのテーマでした。アニー・ローリーでは2つの時代が描かれています。そのうちの一つ昭和は、第二次世界大戦が勃発し、人と人が協力し合った時代。もう一つの平成は、ネットが普及し、画面上では繋がるものの、心同士の繋がりが薄れつつある時代と言えます。

近いはずなのにとても遠いこの2つの時代を、どうやって表現すればいいだろうか、どうやったら歌で心を繋げられるのか。大会が近付いてくるほど焦りが増し、練習が上手いいかない日が増えましたが、部員全員が「良い作品を作り上げたい」という熱意に変わっていき本番を終えることが出来ました。

今回の経験を生かし、また次の部員達にこの熱意を伝え、繋げていきたいと思ひます。

※本感想は2020年3月31日発行の『演劇創造茨城』にも掲載されます。

大会の様子や雰囲気が、写真から少しでも伝わりましたら幸いです。



左から「みすず・緑・厚子」という女学生です。



「男」の出征シーン。
時代背景を演出しています。

上演後、楽屋の前で集合写真を撮影。

